

中央広域環境センターでのごみ処理に伴う説明会（第1回分野別）資料

令和7年6月29日（日）

1. 新ごみ処理施設及び積替保管施設に関する経過

平成30年8月	阿波市・板野町・上板町で構成する「新ごみ処理施設整備検討会」を発足
令和元年12月	ごみ処理方式を「燃料化方式」に決定
令和3年3月	最有力候補地として「阿波市阿波町東長峰」に決定
令和3年4月～	候補地周辺の自治会に対し説明会開催・先進地視察
令和4年2月	事業方式を「公設民営（DBO）」に決定
令和4年10月	総合評価一般競争入札により、新ごみ処理施設整備・運営事業の入札を公告したが、入札参加受付期限までに、参加を申し出た事業者が無かった
令和5年10月	事業方式を「公設民営」から「公設公営」に変更することを決定
令和6年3月	2、3日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第1回） 21～31日、新ごみ処理施設周辺7自治会説明会 【新ごみ処理施設周辺7自治会より建設に関する同意が全て得られた】
令和6年5月	18、19日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第2回）
令和6年9月	28、29日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第3回）
令和7年2月	新ごみ処理施設のごみ処理方式を 「好気性発酵乾燥方式＋固形燃料化（燃料化方式）」から 「好気性発酵乾燥方式＋ケミカル/マテリアルリサイクル」に変更
令和7年2月 ～3月	2月18日～3月30日、新ごみ処理施設周辺7自治会説明会
令和7年5月	24、25日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第4回）

2. 新ごみ処理施設及び中央広域環境センターの稼働予定スケジュール

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
新ごみ処理施設				新施設稼働
業者選定・整備工事・試運転	業者選定 整備工事		試運転	
中央広域環境センター				
ごみの焼却処理	焼却処理			
ごみの施設外搬出		施設外搬出		

令和7年8月

中央広域環境センターでの積替保管の概要

- ① 積替保管施設の考え方
- ア ピット前スペース（プラットホーム）を有効利用する。
 - イ コンベア：2基 4tリフト：2台 バックホー：2台 使用
 - ウ ごみ収集車両から「可燃ごみ」を荷下ろし後、コンベアを利用して水密容器（内容量 7m³、約2t）に投入し、重機で容器の中の「可燃ごみ」を押し込む。リフト作業により、随時容器の入れ替えを行う。



コンベア



- ② 積替保管場所等における臭気対策について
- ア ごみ収集車の出入り口（3か所）に設置している既存のエアカーテンに加え、噴霧器を設置し、消臭剤を噴霧する。
 - イ コンベアに噴霧器を設置し、直接「可燃ごみ」に消臭剤を噴霧する。
 - ウ 水密容器に蓋をし、当日又は翌日までに搬出する。

- ③ ごみの運搬方法について
- ア 最大 13t 積車（ウイング車）7台使用
 - イ 1台につき水密容器（7m³、約2t）5基を、リフト作業により積み込んで搬出する。
最大搬出量 70t／日



水密容器

